

# 地球物理学分野 おおよその予定

4分 地物全体

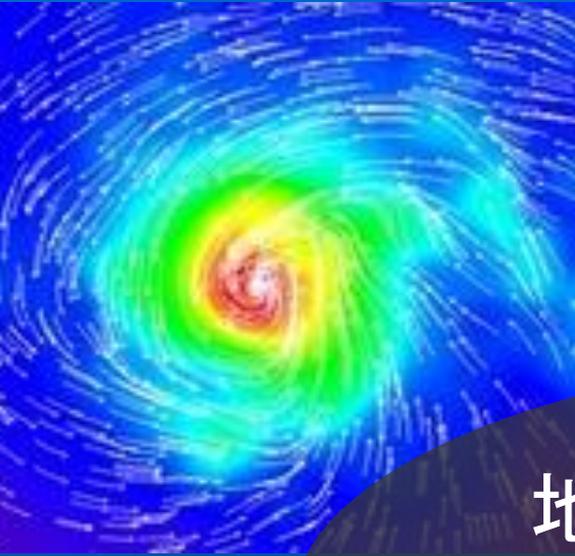
10分 課題演習DA+課題研究T3[固体圏]

10分 課題演習DB+課題研究T1[電磁気圏]

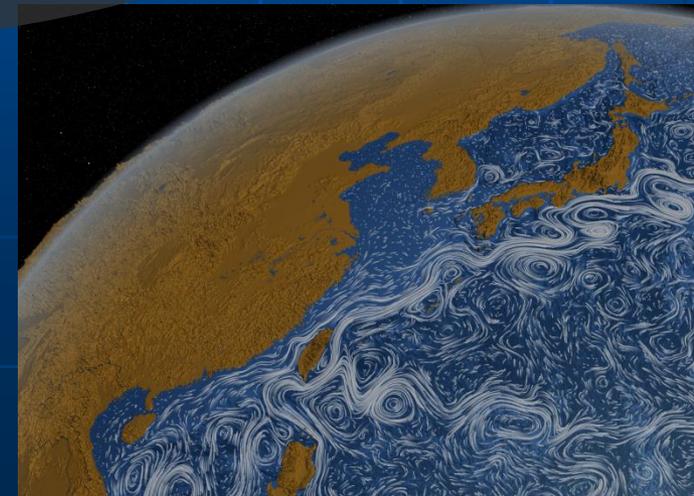
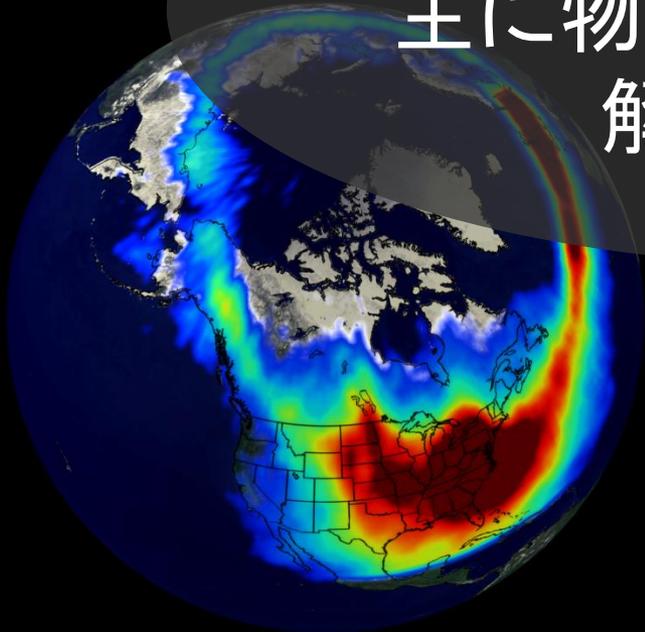
8分 課題研究T2[流体圏]

3分 全体質問

# 地球物理学 Geophysics



地球で起こる自然現象を  
主に物理的手法を用いて  
解明する学問



# 地球物理学

多様性(複雑), 非線形性, 不確実性...

現象・状態の理解(主にデータ解析)

モデル化, 数理解の理解, 予測

(主に理論, シミュレーション, データ同化)

地質学・鉱物学

(実用的な)数学

微積・線形・統計・  
微分方程式・  
フーリエ解析・  
数値計算・  
情報統計学・  
機械学習など

(基礎的な)物理

力学・電磁気・熱・  
流体・弾性体  
(統計・量子)など

化学

基礎的な物理や数学の素養が重要!  
物理や数学が苦手でも、知的好奇心・  
探求心と持続的なやる気があれば成果  
を出せる分野・テーマが多い

# 地球物理学分野

## ■ 地球物理学教室 太陽惑星系電磁気学講座

(太陽惑星系電磁気学)

## 大気圏物理学講座

(気象学)

(物理気候学)

## 水圏地球物理学講座

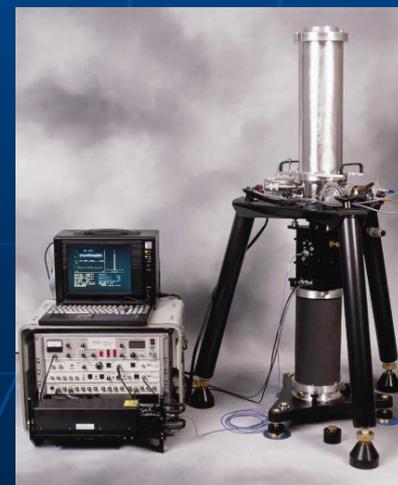
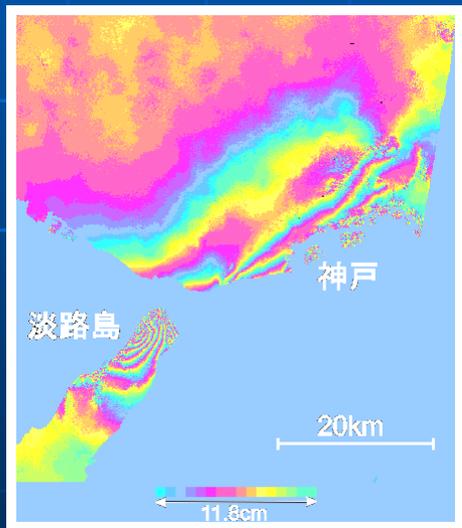
(海洋物理学)

## 固体地球物理学講座

(測地学)

(活構造学)

(地震学)



■ 附属地球熱学研究施設(別府・阿蘇・京都)

■ 附属地磁気世界資料解析センター

# 地球物理学分野担当授業

## 3回生前期(基礎理論・手法II)

電離気体電磁力学  
地球流体力学  
物理気候学  
弾性体力学  
地球物理学のためのデータ解析  
課題演習DA, DB

物理・数学

基礎(理論×手法)

専門

電磁圏  
流体圏  
固体圏

## 3回生後期(専門I)

地球電磁気学  
気象学I  
海洋物理学I  
固体地球物理学A・B  
地球熱学  
地球物性物理学  
課題演習DC, DD

## 4回生(専門II)

太陽地球系物理学  
気象学II  
海洋物理学II  
陸水学  
測地学  
活構造学  
地震学  
火山物理学  
課題研究T1-T3

## 2回生(概論・基礎理論・手法I)

地球物理学概論 I, II  
地球連続体力学・地球連続体力学からの展開  
計算地球物理学・同演習  
観測地球物理学・同演習A, B

# 地球物理学分野 課題演習

	固体	流体・電磁気	
	水3・4	火3・4	
前期	DA	DB	固体, 流体・電磁気の基礎的事項に関して全学問分野を横断的に学ぶ.
後期	DC	DD	固体, 流体・電磁気の各課題からテーマを1つ選択 テーマは基礎から専門応用まで5~10ほど提示される.

前後期ともに, 固体, 流体・電磁気の両方の課題演習を履修することを強く推奨しています.

今回は前期DA・DBの登録です.

後期DC・DDの登録希望調査・調整は6月下旬に行う予定.

Q.12 地球物理学系を希望する理由を簡単に記述してください。

(200文字以内)

Q.13 受講を希望する課題演習を選択してください。(複数選択：可)

DA・DB両方の履修を推奨します。

後期開講の課題演習DC・DDについては、後日開会します。

[前期]DA：固体地球系 (定員24～29)

[前期]DB：流体地球系 (定員24～29)

両方選択することを強く推奨！！

## 系登録定員を超えた場合の選考規準

- 地球物理学分野(24名)  
履修状況，単位の取得状況

# 地球物理学分野の教育研究を知るために

## 地球物理学ホームページ

<https://www.kugi.kyoto-u.ac.jp/>

教育→学部カリキュラム

今日の資料  
もここに置く  
予定



- 系登録・課題演習(過去のガイダンスや課題の資料)
- 課題研究(過去のガイダンス資料や研究課題)

他に、教員一覧、研究室ホームページへのリンク等

# 地球物理学分野 課題研究

T1 電磁気圏

T2 大気圏・水圏

T3 固体圏

T1-T3から1課題を選び、さらに研究室・  
指導教員を選び、通年で卒業研究を行う。

課題演習から課題研究へ、自らの適性を考えながら、  
専門分野を決めるシステム。（「緩やかな専門化」）

系登録直後から課題研究登録の間に

希望が変わる人が意外と多い印象